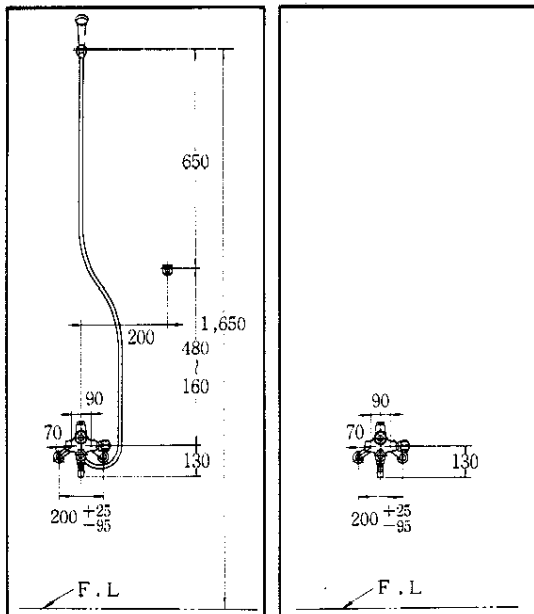


“ファミリーシリーズ”“自動みずとめ” サーモスタットシャワーバス金具・混合栓 取付説明書

完 成 図

シャワバス金具
TM545CR
TM545CMR

混 合 栓
TM545AR



使用条件

1. 使用水圧

(1) ガス瞬間湯沸器と組合せる場合

給水圧力 { 最低必要水圧……(表参照)
最高水圧………6.0kg/cm²

※()はTM545CMRの場合

湯沸器 号 数	最低必要水圧
8号	湯沸器の 最低作動水圧 +0.5kg/cm ² (+0.7kg/cm ²)
10号	〃 +0.7kg/cm ² (+1.0kg/cm ²)
12号	〃 +0.9kg/cm ² (+1.3kg/cm ²)

能力切替式湯沸器で次の号数に切替えられる場合

5号	湯沸器の 最低作動水圧 +0.4kg/cm ² (+0.5kg/cm ²)
8号	〃 +0.6kg/cm ² (+0.8kg/cm ²)
10号	〃 +0.8kg/cm ² (+1.0kg/cm ²)

以上は下記条件を想定して求めた水圧です。

- 切替ハンドルは全開 ● 夏季水温 25℃
- 湯沸器温度調節は「高温」に設定
- シャワ吐水温度 42℃ ● 給湯配管長 5m

(2) 石油瞬間湯沸器及び貯湯式温水器と組合せる場合

給水・給湯圧力 { 最低必要圧力 0.5kg/cm²
最高圧力……… 6.0kg/cm²

(a) 給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、
同圧になるようにしてください。

(b) 給水圧力が6.0kg/cm²を越える場合は、市販の
減圧弁で2.0kg/cm²程度に減圧してください。

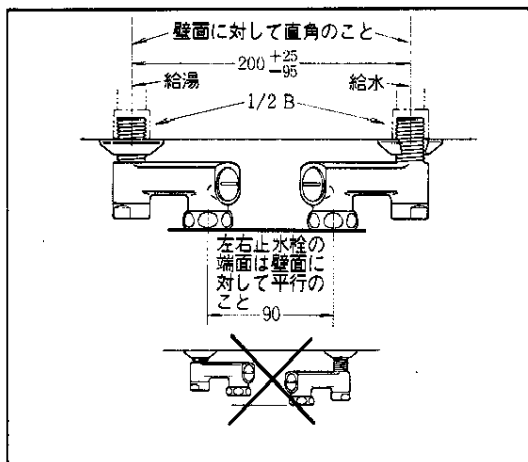
- 給湯温度は使用する温度より10℃以上高くしてください。ただし約70℃以上の温水は出ないようにしてあります。
- 給湯に蒸気を使用しないでください。
- 湯・水を逆配管しないでください。
なお給湯器からの給湯管は抵抗を少なくするため最短距離で配管してください。配管後は必ず保温材を巻いてください。

器具の取付け

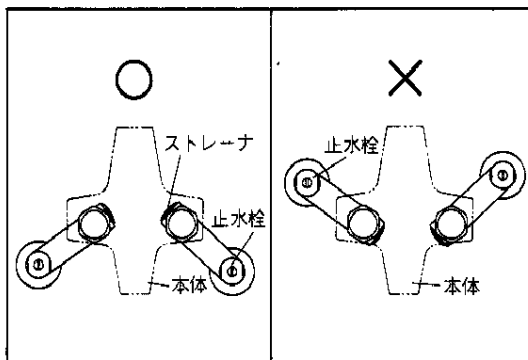
1. 給水管内の清掃

器具を取付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。

2. 止水栓の取付け

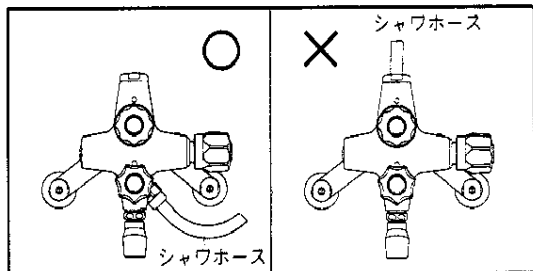


※止水栓の取付位置が本体よりも上になるとストレーナの着脱ができません。

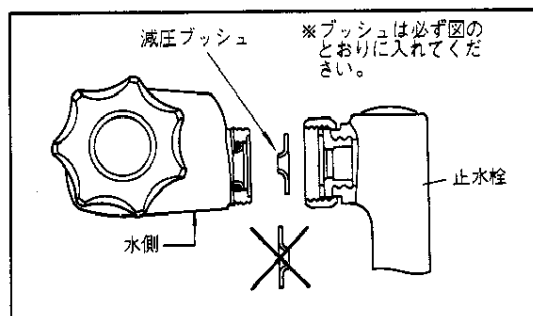


3. シャワーホースの取付け (シャワバス金具の場合)

- 本体を止水栓に接続する前にシャワーホースを本体に取付けてください。
- シャワーホースは止水栓の下から取り出してください。



- 4.減圧ブッシュの取付け(シャワバス金具の場合)
給水圧力が2.0kg/cm²以上の場合は本体の給水側に、同梱の減圧ブッシュをはめ込んでください。



温度調節

工場で温度調節をしていますが取付現場の圧力状況などによって、目盛通りの吐水温度にならない場合があります。その場合は、「ご愛用のしおり」の温度調節の方法(12ページ)をご参照になり温度調節を行ってください。

最大設定量の調節

この器具は目盛300(約300ℓ)まで設定できますが、浴槽の適量目盛以上、設定ハンドルが回らないように最大設定量の調節をすることができます。お客様のご希望で最大設定量の調節をするときは、「ご愛用のしおり」の最大設定量の調節方法(10、11ページ)を参照ください。

ストレーナの掃除

ストレーナがつまると吐水量が少なくなったり水又は熱湯しかでなくなるなど十分な機能が發揮されなくなります。器具取付後は、必ずストレーナを掃除してください。

また、お客様にもととき掃除していただくようにご指導願います。

お手入れ

めっきされた器具がいつまでも美しさを保つように、お客様にお手入れ方法をご指導ください。

- 1.常に柔らかな布でみがき、ときにはミシン油やカーワックスなどをしませた布でふくこと。
- 2.クレンザーやみがき粉など粗い粒子を含んだ洗剤やナイロンたわしなどは使用しないこと。
- 3.酸性洗剤はめっきを侵しますので、使用しないこと。もし、タイルを酸性洗剤で洗った場合は、すぐにタイル及び器具を十分に水洗いすること。

分解と点検

取付後万一故障などで分解するときは、次の要領で行ってください。

故障とその点検箇所		
故障	点検箇所	
流量が少ない	1. 2	
高温しか出ない	1. 2. 8. 9. 10	
低温しか出ない	1. 2. 8. 9	
目盛とお湯の温度がちがう	1. 2. 8. 9. 10	
水が止まらない	手動ハンドル側	3. 4
	設定ハンドル側	5. 6. 7

